

広域振興局長

提出者 ケミコン東日本株式会社 岩手工場
住所 〒024-0073 岩手県北上市下江釣子14地割40番地1
氏名 工場長 菊池 浩二

(法人にあつては、その名称及び代表者の氏名)

地球温暖化対策実施状況届出書

県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例第83条の規定により、地球温暖化対策の実施状況について、次のとおり届け出ます。

1. 事業者に関する事項

主たる工場又は事業場の名称	ケミコン東日本株式会社 岩手工場	*整理番号	
主たる工場又は事業場の所在地	岩手県北上市下江釣子14地割40番地1	*受理年月日	年 月 日
エネルギー使用量	2,369 kl	*施設番号	
自動車の使用台数	台		
二酸化炭素の排出の状況	別紙のとおり。		
二酸化炭素の排出の抑制のための措置状況			
その他の地球温暖化の対策の実施状況			
変更年月日及び理由	年 月 日		
エネルギーの使用の合理化等に関する法律第19条第1項に定める連鎖化事業者	該当しない		

2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
ケミコン東日本(株) 岩手工場 (旧岩手工場・コイル技術部)	〒024-0073 岩手県北上市下江釣子14地割40番地1	2,032 kl
ケミコン東日本(株)岩手工場製造3課 (旧江釣子工場)	〒024-0074 岩手県北上市滑田20地割90-4	319 kl
ケミコン東日本(株) 岩手西工場 (旧西工場)	〒024-0332 岩手県北上市和賀町堅川目1地割1-77	18 kl

備考1 *印の欄には、記載しないこと。

- 2 エネルギー使用量の欄は県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則第39条第1項に規定する工場又は事業場に該当する場合に、自動車の使用台数の欄は同条第2項に該当する場合に記載する
- 3 エネルギー使用量については、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により原油の数量へ換算した量を記載すること。
- 4 変更計画書の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させる
- 5 2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合には、別に(別途)一覧を作成の上、添付してください。

岩手県
県庁広域振興課
7.6.30
花保セ第
176-28

別紙 その1 (工場又は事業者用)

1 温室効果ガスの排出状況

(1) エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類	(2024)年度							E=B-D	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	前年度二酸化炭素 排出量 (t-CO ₂)	対前年度比二酸化炭素 排出量 (t-CO ₂)
	エネルギーの使用量		販売したエネルギー使用量								
	数値 A	単位	数値 B	数値 C	単位	数値 D					
原油(コンデンセートを除く)		kL				kL					
原油のうちコンデンセート(NGL)		kL				kL					
揮発油(ガソリン)	2.23	kL	74			kL	74	5		5	
ナフサ		kL				kL					
ジェット燃料		kL				kL					
灯油	83.55	kL	3,049			kL	3,049	209		209	
軽油	1.59	kL	60			kL	60	4		4	
A重油		kL				kL					
B・C重油		kL				kL					
石油アスファルト		t				t					
石油コークス		t				t					
石油ガス	液化石油ガス(LPG)	4.31	t	216		t	216	13		13	
	石油系液化水素ガス		千m ³			千m ³					
可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t			t					
	その他可燃性天然ガス		千m ³			千m ³					
石炭	輸入原料炭		t			t					
	原料炭		t			t					
	吹込用原料炭		t			t					
	一般炭		t			t					
	輸入一般炭		t			t					
	国産一般炭		t			t					
輸入無煙炭		t				t					
石炭コークス		t				t					
コールタール		t				t					
コークス炉ガス		千m ³				千m ³					
高炉ガス		千m ³				千m ³					
発電用高炉ガス		千m ³				千m ³					
転炉ガス		千m ³				千m ³					
その他の燃料	都市ガス		千m ³			千m ³					
	()										
黒液		t				t					
木材		t				t					
木質廃材		t				t					
バイオエタノール		kL				kL					
バイオディーゼー		kL				kL					
バイオガス		千m ³				千m ³					
その他バイオマス		t				t					
RDF		t				GJ/t					
RPF		t				GJ/t					
廃タイヤ		t				GJ/t					
廃プラスチック(一般廃棄物)		t				GJ/t					
廃プラスチック(産業廃棄物)		t				GJ/t					
廃油		kL				GJ/kL					
廃棄物ガス		千m ³				千m ³					
混合廃材		t				t					
水素		t				t					
アンモニア		t				t					
その他燃料()											
小計①							3,400	231		231	
産業用蒸気		GJ				GJ					
産業用以外の蒸気		GJ				GJ					
温水		GJ				GJ					
冷水		GJ				GJ					
地熱		GJ				GJ					
温泉熱		GJ				GJ					
太陽熱		GJ				GJ					
雪氷熱		GJ				GJ					
小計②											
電気事業者①	10,235.33	千kWh	88,433			千kWh	88,433	4,115		4,115	
電気事業者② ※複数契約している場合使用		千kWh				千kWh					
自己託送(非燃料由来を除く)		千kWh				千kWh					
自家発電	太陽光		千kWh			千kWh					
	水力		千kWh			千kWh					
	風力		千kWh			千kWh					
	その他		千kWh			千kWh					
小計③						88,433	4,115		4,115		
合計 ①=①+②+③							91,833	4,346		4,346	

(2) 原油換算エネルギー使用量=(1)のエネルギー合計使用量×0.0258)

原油換算エネルギー使用量	2,369	kL
--------------	-------	----

(3) 温室効果ガスの総排出量

区分	温室効果ガスの排出量
二酸化炭素の排出量	4,346 t-CO ₂
メタンの排出量	t-CO ₂
一酸化二窒素の排出量	t-CO ₂
ハイドロフルオロカーボンの排出量	t-CO ₂
パーフルオロカーボンの排出量	t-CO ₂
六ふっ化硫黄の排出量	t-CO ₂
三ふっ化窒素の排出量	t-CO ₂
合計	4,346 t-CO ₂

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。
 2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。
 3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

別紙 その1 (工場又は事業者用)

1 温室効果ガスの排出状況

(1) エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類	(2024)年度						E-B-D	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	前年度二酸化炭素 排出量 (t-CO ₂)	対前年度比二酸化炭素 排出量 (t-CO ₂)
	エネルギーの使用量		販売したエネルギー使用量		E-B-D	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)				
	数値 A	単位 B	数値 C	単位 D						
原油(コンデンセートを除く)		kL			kL					
原油のうちコンデンセート(NGL)		kL			kL					
揮発油(ガソリン)	1.96	kL	65		kL	65	4		4	
ナフサ		kL			kL					
ジェット燃料		kL			kL					
灯油	1.43	kL	52		kL	52	4		4	
軽油	0.23	kL	9		kL	9	1		1	
A重油		kL			kL					
B・C重油		kL			kL					
石油アスファルト		t			t					
石油コークス		t			t					
石油ガス	液化石油ガス(LPG)	4.20	t	210	t	210	13		13	
	石油系炭化水素ガス		千m ³		千m ³					
可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t		t					
	その他可燃性天然ガス		千m ³		千m ³					
石炭	輸入原料炭		t		t					
	原料炭		t		t					
	吹込用原料炭		t		t					
	一般炭		t		t					
	輸入一般炭		t		t					
	輸入無煙炭		t		t					
石炭コークス		t		t						
コールタール		t		t						
コークス炉ガス		千m ³		千m ³						
高炉ガス		千m ³		千m ³						
発電用高炉ガス		千m ³		千m ³						
転炉ガス		千m ³		千m ³						
その他の燃料	()		千m ³		千m ³					
	()									
黒液		t		t						
木材		t		t						
木質廃材		t		t						
バイオエタノール		kL		kL						
バイオディーゼーゼル		kL		kL						
バイオガス		千m ³		千m ³						
その他バイオマス		t		t						
RDF		t		GJ/t						
RPF		t		GJ/t						
廃タイヤ		t		GJ/t						
廃プラスチック(一般廃棄物)		t		GJ/t						
廃プラスチック(産業廃棄物)		t		GJ/t						
廃油		kL		GJ/kL						
廃棄物ガス		千m ³		千m ³						
混合廃材		t		t						
水素		t		t						
アンモニア		t		t						
その他燃料()										
小計①						337	21		21	
産業用蒸気		GJ		GJ						
産業用以外の蒸気		GJ		GJ						
温水		GJ		GJ						
冷水		GJ		GJ						
地熱		GJ		GJ						
温泉熱		GJ		GJ						
太陽熱		GJ		GJ						
雪氷熱		GJ		GJ						
小計②										
電気事業者①	9,077.82	千kWh	78,432	千kWh		78,432	3,649		3,649	
電気事業者② ※複数契約している場合使用		千kWh		千kWh						
自己託送(非燃料由来を除く)		千kWh		千kWh						
自家発電	太陽光		千kWh	千kWh						
	水力		千kWh	千kWh						
	風力		千kWh	千kWh						
	その他		千kWh	千kWh						
小計③						78,432	3,649		3,649	
合計 ④=①+②+③						78,769	3,671		3,671	

(2) 原油換算エネルギー使用量=(1)のエネルギー合計使用量×0.0258)

原油換算エネルギー使用量	2,032	kL
--------------	-------	----

(3) 温室効果ガスの総排出量

区分	温室効果ガスの排出量
二酸化炭素の排出量	3,671 t-CO ₂
メタンの排出量	t-CO ₂
一酸化二窒素の排出量	t-CO ₂
ハイドロフルオロカーボンの排出量	t-CO ₂
パーフルオロカーボンの排出量	t-CO ₂
六ふっ化硫黄の排出量	t-CO ₂
三ふっ化窒素の排出量	t-CO ₂
合計	3,671 t-CO ₂

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。
 2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。
 3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

別紙 その1 (工場又は事業者用)

1 温室効果ガスの排出状況

(1) エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類	(2024)年度						E-B-D	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	前年度二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	対前年度比二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)
	エネルギーの使用量		販売したエネルギー使用量							
	数値 A	単位 B	数値 C	単位 D						
原油(コンデンセートを除く)		kL			kL					
原油のうちコンデンセート(NGL)		kL			kL					
揮発油(ガソリン)	0.27	kL	9		kL	9	1		1	
ナフサ		kL			kL					
ジェット燃料		kL			kL					
灯油	82.12	kL	2,997		kL	2,997	206		206	
軽油	1.36	kL	52		kL	52	4		4	
A重油		kL			kL					
B・C重油		kL			kL					
石油アスファルト		t			t					
石油コークス		t			t					
石油ガス	液化石油ガス(LPG)	0.11	t	6	t	6	0		0	
	石油系炭化水素ガス		千m ³		千m ³					
可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t		t					
	その他可燃性天然ガス		千m ³		千m ³					
石炭	輸入原料炭		t		t					
	原料炭		t		t					
	吹込用原料炭		t		t					
	一般炭		t		t					
	輸入一般炭		t		t					
	国産一般炭		t		t					
輸入無煙炭		t			t					
石炭コークス		t			t					
コールタール		t			t					
コークス炉ガス		千m ³			千m ³					
高炉ガス		千m ³			千m ³					
発電用高炉ガス		千m ³			千m ³					
転炉ガス		千m ³			千m ³					
その他の燃料	()									
	()									
非化石燃料	黒液		t		t					
	木材		t		t					
	木質廃材		t		t					
	バイオエタノール		kL		kL					
	バイオディーゼル		kL		kL					
	バイオガス		千m ³		千m ³					
	その他バイオマス		t		t					
	RDF		t		GJ/t					
	RPF		t		GJ/t					
	廃タイヤ		t		GJ/t					
	廃プラスチック(一般廃棄物)		t		GJ/t					
	廃プラスチック(産業廃棄物)		t		GJ/t					
	廃油		kL		GJ/kL					
	廃棄物ガス		千m ³		千m ³					
混合廃材		t		t						
水素		t		t						
アンモニア		t		t						
その他燃料()										
小計①						3,064	210		210	
熱	産業用蒸気		GJ		GJ					
	産業用以外の蒸気		GJ		GJ					
	温水		GJ		GJ					
	冷水		GJ		GJ					
	地熱		GJ		GJ					
	温泉熱		GJ		GJ					
	太陽熱		GJ		GJ					
	雪氷熱		GJ		GJ					
小計②										
電気	電気事業者①	1,078.43	千kWh	9,318	千kWh	9,318	434		434	
	電気事業者② ※複製契約している場合使用		千kWh		千kWh					
	自己託送(非燃料由来を除く)		千kWh		千kWh					
	自家発電	太陽光		千kWh		千kWh				
		水力		千kWh		千kWh				
		風力		千kWh		千kWh				
その他			千kWh		千kWh					
小計③					9,318	434		434		
合計 ④=①+②+③						12,381	644		644	

(2) 原油換算エネルギー使用量=(1)のエネルギー合計使用量×0.0258)

原油換算エネルギー使用量	319	kL
--------------	-----	----

(3) 温室効果ガスの総排出量

区分		温室効果ガスの排出量	
二酸化炭素の排出量	エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	644	t-CO ₂
	上記以外の二酸化炭素		t-CO ₂
メタンの排出量			t-CO ₂
一酸化二窒素の排出量			t-CO ₂
ハイドロフルオロカーボンの排出量			t-CO ₂
パーフルオロカーボンの排出量			t-CO ₂
六ふっ化硫黄の排出量			t-CO ₂
三ふっ化窒素の排出量			t-CO ₂
合計		644	t-CO ₂

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。
 2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。
 3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

別紙 その1 (工場又は事業者用)

1 温室効果ガスの排出状況

(1) エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類	(2024)年度						E-B-D	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	前年度二酸化炭素 排出量 (t-CO ₂)	対前年度比二酸化炭素 排出量 (t-CO ₂)
	エネルギーの使用量			販売したエネルギー使用量						
	数値 A	単位	熱量(GJ) B	数値 C	単位	熱量(GJ) D				
原油(コンデンセートを除く)		kL				kL				
原油のうちコンデンセート(NGL)		kL				kL				
揮発油(ガソリン)		kL				kL				
ナフサ		kL				kL				
ジェット燃料		kL				kL				
灯油		kL				kL				
軽油		kL				kL				
A重油		kL				kL				
B・C重油		kL				kL				
石油アスファルト		t				t				
石油コークス		t				t				
石油ガス	液化石油ガス(LPG)	t				t				
	石油系炭化水素ガス	千m ³				千m ³				
可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)	t				t				
	その他可燃性天然ガス	千m ³				千m ³				
石炭	輸入原料炭	t				t				
	原料炭	コークス用原料炭	t			t				
		吹込用原料炭	t			t				
	一般炭	輸入一般炭	t			t				
		国産一般炭	t			t				
		輸入無煙炭	t			t				
石炭コークス		t				t				
コールタール		t				t				
コークス炉ガス		千m ³				千m ³				
高炉ガス		千m ³				千m ³				
発電用高炉ガス		千m ³				千m ³				
転炉ガス		千m ³				千m ³				
その他の燃料	都市ガス	千m ³				千m ³				
	()									
	()									
黒液		t				t				
木材		t				t				
木質廃材		t				t				
バイオエタノール		kL				kL				
バイオディーゼル		kL				kL				
バイオガス		千m ³				千m ³				
その他バイオマス		t				t				
RDF		t				GJ/t				
RPF		t				GJ/t				
廃タイヤ		t				GJ/t				
廃プラスチック(一般廃棄物)		t				GJ/t				
廃プラスチック(産業廃棄物)		t				GJ/t				
廃油		kL				GJ/kL				
廃棄物ガス		千m ³				千m ³				
混合廃材		t				t				
水素		t				t				
アンモニア		t				t				
その他燃料()										
小計①										
産業用蒸気		GJ				GJ				
産業用以外の蒸気		GJ				GJ				
温水		GJ				GJ				
冷水		GJ				GJ				
地熱		GJ				GJ				
温泉熱		GJ				GJ				
太陽熱		GJ				GJ				
雪氷熱		GJ				GJ				
小計②										
電気事業者①	79.09	千kWh	683			千kWh	683	32	32	
電気事業者② ※複数契約している場合使用		千kWh				千kWh				
自己託送(非燃料由来を除く)		千kWh				千kWh				
自家発電	太陽光	千kWh				千kWh				
	水力	千kWh				千kWh				
	風力	千kWh				千kWh				
	その他	千kWh				千kWh				
小計③							683	32	32	
合計 ①+②+③							683	32	32	

(2) 原油換算エネルギー使用量=(1)のエネルギー合計使用量×0.0258)

原油換算エネルギー使用量	18	kL
--------------	----	----

(3) 温室効果ガスの総排出量

区分	温室効果ガスの排出量	
二酸化炭素の排出量	エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	32 t-CO ₂
	上記以外の二酸化炭素	t-CO ₂
メタンの排出量	t-CO ₂	
一酸化二窒素の排出量	t-CO ₂	
ハイドロフルオロカーボンの排出量	t-CO ₂	
パーフルオロカーボンの排出量	t-CO ₂	
六ふっ化硫黄の排出量	t-CO ₂	
三ふっ化窒素の排出量	t-CO ₂	
合計	32 t-CO ₂	

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。
 2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。
 3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

別紙 その2

1 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

二酸化炭素の排出状況としては、全体で前年度比約21%減少となった。

各工場別では

- ・岩手工場は 約20%の減少。
- ・製造3課(旧江釣子工場)は約18%の減少。
- ・西工場は 約14%の減少。

目標として掲げていた「資源投入量」原単位低減については、前年度比1%以上改善する取組みを行い全体では前年度比 109.5%となり 9.5%悪化、目標未達成となった。

各工場別では

- ・岩手工場の原単位は111.9%となり11.9%の悪化、目標未達成。
- ・製造3課(旧江釣子工場)の原単位は 98.7%となり 1.3%の改善、目標達成。

未達成の主な要因としては、生産数の減少が挙げられる。

【具体的な取組状況】

①電気

岩手工場

- ・照明器具LED化は約590台、高効率空調機への更新については10台実施し省エネに繋がった。
- ・空調機室内機熱交換器の目詰まり掃除を夏季冷房需要期前に実施し空調電力抑制に繋がった。
- ・生産設備稼働ライン数を削減・集約し、未使用エリアの照明・空調を停止し電力削減をおこなった。
- ・生産設備で使用しているエア―機器のエア漏れ補修を行い、空気圧縮機電力が抑制された。引き続き補修を継続する。

製造3課(旧江釣子工場)

- ・今期も引き続き高効率機器の更新を行なった。照明器具LED化を約130台実施し省エネに繋がった。
- ・エア漏れ補修を実施し空気圧縮機電力が抑制された。引き続き補修を継続する。

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

2 その他の地球温暖化の対策の実施状況

- ・カーボンニュートラルへ向けロードマップを作成しco2排出量削減に取り組んでいる。
- ・ダンボール類、古紙・雑誌類、紙くず類、金属くず、木屑、廃プラは分別を徹底し廃棄物削減に取り組んでいる。
- ・コピー用紙は裏紙使用や、複数ページの場合は両面コピーするなど紙の使用量削減に取り組んでいる。
- ・事務用品はグリーンマーク品の購入を推進。

別紙 その3 (自動車用)

1 二酸化炭素の排出の状況

自動車関係の二酸化炭素排出量 (年度)

自動車		二酸化炭素の排出			燃料使用 量対前年 度比(%)
燃料別	保有台数	燃料使用量 (A)	排出係数 (B)	排出量 (A×B)	
ガソリン	()	ℓ	2.29 kg-CO ₂ /ℓ	kg-CO ₂	
軽油	()	ℓ	2.62 kg-CO ₂ /ℓ	kg-CO ₂	
LPG	()	kg	2.99 kg-CO ₂ /kg	kg-CO ₂	
電気		kWh	0.402 kg-CO ₂ /kWh	kg-CO ₂	
その他	()		kg-CO ₂ /()	kg-CO ₂	
合計	0 (0)			kg-CO ₂	

備考1 保有台数欄の()には、ハイブリッド車の台数(内数)を記載してください。

2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。

2 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

【具体的な取組状況】

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

3 その他の地球温暖化の対策に関する事項